

泉の自治だより

題字 河合三男

No. 152

発行所 泉町連合区
 発行責任者 連合区会長 河合 三男
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中竈町 TEL 55-3653
 編集部長 曾我 直佳

二年間の任期を終えて

令和五・六年度連合区会長
 加納 弘夫

令和五年度に泉町連合区
 会長を拝命し、気が付けば二年が経過、任期満了をつつがなく迎えることができました。

泉町の皆様やご協力をくださった関係団体様、企業様に心より厚くお礼申し上げます。

さて、任期を終え4点ほど気付いたことや関係者の方々にお願ひ事を申し上げます。

一点目、泉町スポーツ・フェスティバル、文化祭、新年歩け・歩け大会などについては、泉町連合区会、



泉公民館、泉西公民館、泉町スポーツ協会の泉町四団体が中心となり『泉町文化・スポーツ協議会』として活動を行ってまいりました。

これらイベントについては、さらなるコミニユティの始りになればと思います。

二点目は、駅周辺パトロールですが、この活動は、『地域の安全は、地域(自分たち)で守ろう』を合言葉に十五団体で駅周辺のパトロールを実施し、二十年以上の活動を継続してまいりました。

これは、先輩の方々が長年に亘り安全という実績を築き上げてきた、歴史のある活動で、さらなる継続をお願ひいたします。



三点目は、防災意識の向上についてですが、令和六年一月の能登半島地震を教訓に、災害発生後に私たち

自身が何を、どのように対応したら良いのかを真剣に考えておかねばならないことだと思えます。幸いにも泉町には『泉防災士会』の方々が既に活動を行っております。防災意識の向上、災害発生後の対応方などについて、泉町連合区会へのご助言等を更にいただけたらと考えます。

四点目は、区や町内会の役員となり手不足についてですが、多くの地区では、少子化・高齢化やさらには各企業での雇用延長などにより、自治会活動への関心が希薄となり、役員をお願ひしても不調に終わるの現状です。

泉町内の方々にお願いですが、仕事や家事等で大変かもしれませんが、自治会活動へのボランティア参加を切に願ひいたします。自治会活動を行うことにより、地域の繋がりを『より強固にできるチャンス』ではないかと考えます。

結びに、泉町が住みやすく、明るく、楽しく、そして安全な町となるよう私自身精一杯協力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

新連合区会長挨拶

河合 三男

令和七年度および令和八年度の泉町連合区会会長を務めることになりました。大役ではありますが、皆様のご協力を頂ながら任務を果たしたいと思えます。

さて、この泉町連合区で発行している「泉の自治だより」は皆さんなじみがある機関紙で、皆さんも楽しみにされていると思います。私の最初の仕事としてこの題字を書くことになりました。

これまでのこの題字は毛筆で書かれているようなので、早速書いてみました。毛筆を使うのは慣れていません。毛筆を習ったのは小学生高学年の時以来で、社会人になってからはボールペンの使用ばかりでした。筆を使うのは年に数回、自分の氏名ぐらいでした。

これまでの「泉の自治だより」を拝見すると、立派な筆使いの方がかりなので、その「泉」という字が使われている場所を散歩しながら探しました。



まず目についたのは泉小学校体育館に掲げられている校章です。この校章は左右が対照のデザイン文字なので、題字には不向きでした。次に小学校近くにある泉公民館の駐車場入口にある陶板の文字。これは立派なくずし文字ですが、行書体の文字は書いたことがないので手本として断念しました。もうひとつは定林寺地区にある泉陶磁器工業共同組合の表札です。この表札は十文字で一文字ごと陶板で、四隅がネジで取り付けられていました。

結果、手本としたのは泉中学校入口に設置されている石柱に刻まれている字とネット習字を手本として書かさせていただきました。改めてこの二年間よろしくお願ひします。

令和七年度 泉町連合区役員



会長	河合三男	副会長(筆頭)	富田 功	副会長	久尻区長 土本赳夫	副会長	河合区長 稲垣年晴	副会長	定林寺区長 酒井幸昌	副会長	大富区長 佐々木裕彦	総務	中嶋昌尚	会計	東 敏也	女性部長	日比野美奈	自治だより編集部長	曾我 直佳
泉町連合区	会長	河合三男	副会長	佐々木裕彦	連合区女性部	連合部長	日比野美奈	泉の自治だより編集部	編集部長	曾我直佳									
	副会長(筆頭)	富田 功	総務	中嶋昌尚		副部長(会計)	吉田裕見子		編集副部長	丹羽和弘									
	副会長	土本赳夫	会計	東 敏也		副部長(書記)	林 陽子		編集委員	今井英二									
	副会長	稲垣年晴	事務	森本千賀		副部長	村瀬美恵子		編集委員	種子島泰彦									
副会長	酒井幸昌							編集委員	伊藤隆光										

令和7年度各区役員・町内会世帯数等

泉町	町内会数	班数	世帯数	広報数	回覧数
	58	432	5,163	5,396	564

【泉町 人口 17,894人 面積29.43km²】 令和7年2月28日現在

河合区	役職	氏名	町内会名	町内会長名
	区長	稲垣年晴	賤ヶ洞	小栗浩明
	副区長	水野和昭	上	加藤泰彦
	副区長(会計)	加藤和郎	中野	岡安健一郎
			岩野	林 政稔
			山手	安藤知範
			世帯数 276世帯	

大富区	役職	氏名	町内会名	町内会長名	町内会名	町内会長名
	区長	佐々木裕彦	東 窯	加藤峰敏	森 下	奥村哲也
	副区長	山口浩敬	北 山	丹羽卓樹	寺 島	金子智成
	副区長	山口武徳	北山2	佐々木悠斗	東 上	厚見徳和
	会計	服部泰人	中 窯	桐原浩二	西 上	安藤聖一
			西窯第1	加藤真司	主 税	渡辺 浩
			西窯第2	堀江輝雄	大 和	稲垣宏繁
			仲 森	酒井一郎	報 徳	水野記宏
			大 徳	高橋孝一郎	平 和	今井 誠
			梅ノ木	澤野由典	伊野川	古田善宏
			神 栄	土本浩樹		
			島 田	今井竜彦		
					世帯数 2,091世帯	

定林寺区	役職	氏名	町内会名	町内会長名
	区長	酒井幸昌	東	本田英樹
	副区長	岩田透	記 念	稲垣喜治
	副区長(会計)	各務 鍛	本 郷	澤田陽平
			土 居	伊左治直弘
			中 川	丹羽裕孝
			宮前1	水野秀文
		宮前2	古田広之	
		原	水野光治	
			世帯数 504世帯	

久尻区	役職	氏名	町内会名	町内会長名	町内会名	町内会長名
	区長	土本赳夫	緑ヶ丘	鈴木 成	五斗蒔	村瀬信吾
	副区長(総務)	川上由宇樹	緑ヶ丘東	原口雅臣	五斗蒔東	山崎浩一
	々(行事)	宮川好広	日之出	加藤功也	五斗蒔西	山本誠二
	々(会計)	渡辺健二郎	明 治	林 哲徳	泉が丘1	渡辺克己
			郷	奥岡辰芳	泉が丘2	中村德行
			岩 畑	加藤貴臣	泉が丘3	数内崇視
			大坪1	島尾弘司	泉が丘4	土本 孝
			大坪2	松本和広	泉が丘5	後藤正樹
			寺下1	麦島定実	泉が丘6	長江正文
			寺下2	奥村信彦		
					世帯数 1,991世帯	

駅前区	役職	氏名	町内会名	町内会長名
	区長	富田 功	東 本	有我信幸
	副区長	錦 俊夫	西本2	池田天美
	会計	古田智一	新土岐津東	若尾紀行
			新土岐津西	各務清隆
			更生1	中村良司
		中 央	具原宏佑	
			世帯数 301世帯	

各区区長ご挨拶

河合区長 稲垣 年晴

今年度、河合区の区長を務めさせていただきます稲垣年晴です。よろしくお願いいいたします。

コロナ、インフルエンザなどの各自予防対策が行き届き河合区内の年間行事もおおむね再開されております。今年度、河合区内では五月の環境整備(溝さらえ)、七月の津島様祭礼(夏祭り)、九月の茸山入札会、十月の八幡神社祭礼(子供みこし)、



一月の神明神社、八幡神社元旦祭、二月の八幡神社祈禱祭(餅投げ)などが、開催される予定です。



内容については例年通りですが、何か新しい項目(遊び心)を加えた行事にしたいと思っております。

また、昨今の地震、火災、交通事故などに備えた備蓄品の見直しや、避難場所などの配置図、交通標識設置などを見直したいと思っております。さらに、縁あって河合区内に引越してこられた方々に自治会への参加の呼びかけも行い、河合区全体を区民、長寿会、氏子総代、女性部、子供会、区役員などとの交流の場を設け、より充実した活動の一年としてゆききたいと思っております。

定林寺区長 酒井 幸昌

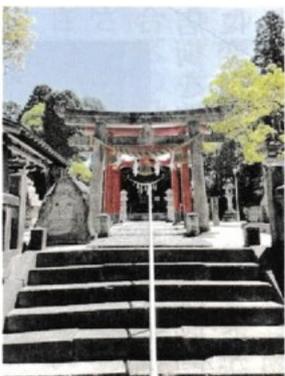
今年度の定林寺区長を拝命いたしました酒井幸昌でございます。微力ではございますが、区民の皆様のご理解とご協力を賜りながら、区長の職を務めていきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願いいいたします。

近年、自治会役員の受け手不足が社会問題となっておりませんが、当地区におきましても同様の状況であると思えます。少子高齢化、核家族化、定年延長などさまざまな要因により、価値観が多様化したり、ライフワークが変化したりしたことで、地域力が衰退する傾向にあるように思います。

また、コロナの影響で多くの行事が中止または縮小を余儀なくされ、コロナが落ち着いた今日でも、なかなか元に戻らない状況です。昨今、南海トラフ地震など、大規模災害の脅威が増す中、セーフティネットとしての自治会の存在意義は大きくなっています。普

段は近所づきあいの大切さに気付きにくいかもしれないが、いざというときに本当に頼りになるのは隣人であり、町内会です。命と暮らしを守るためにも、顔と顔がつながり、困ったときに助け合える関係が必要

これまで長年にわたり築かれてきました区の行事、防災・防犯活動、清掃活動などを通して、各町内会長、女性部、各専門部会、そして、定林寺区の伝統を築いてこられました諸先輩の力添えをいただきながら、地域のつながりを深めることができればと考えております。



また、連合区会の副会長として、できる範囲のことを行っていくしますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

大富区長 佐々木 裕彦

令和七年度の大富区長を拜命することになりました佐々木裕彦です。

今年度の大富区のテーマは「明るく住みよい地域をつくるため、地域の協力のもと防災・防犯活動を実施する」と「先人たちのたまものである大富固有の財産、諸権利の管理保全を図るとともに、大富山里山構想を継続する」の二点です。

第一点の防犯・防災活動につきましては、いつ起きるかもしれない南海トラフ地震を含む防災対策として、大富区が町内会、連合区会時に応じて土岐市の危機管理室・消防署と連携して準備を行います。防災活動の意識向上として、災害図上訓練やAED講習も実施します。



文化祭にてAED体験

第二点の大富区里山構想につきましては、大富山についての私の思い入れを述べさせていただきます。

小学校高学年の課題で、「近所のお年寄りに泉町についての話を聞く」がありました。

その中で二つのことを教えていただきました。一つは泉町の名前の由来は大富山には豊かな水を蓄えた池が多くあり、他の村々が水不足の時も困らなかつたこと。

もう一つは私が小学校の頃、白山神社には幹の中が空洞になっており、子供が中に入れるほどのヒトツバダコが古木がありました。大昔はその名前が分からな



ヒトツバダコ

かつたことから「なんじゃもんじゃの木」と呼んでいたこと。

中学生になり、夏休みのクラブ活動のランニングコースが大富山でありました。現在「大富山を愛する会」の一員となり整備している街道が、土岐津町高山と御嵩町を結ぶ美佐野街道であることを知らずに駆け下りたこと。

そのひとつひとつが今につながっていると感じています。

最後になります。一年間、皆様のご協力により大富区の自治会活動を行っていきまのでよろしくお願ひ申し上げます。



駅前区長 富田 功

本年度駅前区長をやらせていただきました富田と申します。区三役の皆様、町内会長さん、そして区民の皆様とともに考え行動し、住みやすい駅前になればと思

います。この街でも駅周辺にはその利便性から商店街があり発展してきました。土岐市でも駅前には中央通りや共栄会通り、脇に入った通りでも商店が並んでいました。三十年ほど前は駅前だけでも一〇〇軒を超す商店や飲食店があり、どの店もそれなりに繁盛していました。

パチンコ店だけでも駅前に三店も営業していました。週末や正月、お盆時期、また夏祭りはお客様でごった返したものです。ところが、今や駅前には三十軒そこらの店舗しかありません。「東濃で一番さびれている」とやゆされたこともあります。当時、こういう状況になるとは誰が想像したでしょう。業績不振、後継者不足、商



店街を取り巻く環境は劇的に変化し、そのスピードが予想をはるかに越え、有効策も見つからず、街が衰退していくのを商店街も行政も見守ることしかできませんでした。いろいろな再開発計画も出たり消えたり、今や駅前にはやたらと駐車場と学習塾が目立ちます。郊外の大型店に行けばなんでも揃い食事をして一日楽しく過ごせます。ただ、そこに行くには車かバス、タクシーです。いつかは車に乗らなくなる時、歩いて行ける地元の商店街が必要だと思ひます。駅前の住民を買い物難民にははいけません。駅前は何がいいのか。駅まで歩いて行ける、病院まで歩いて行ける、買い物に歩いて行ける。年配者や

交通弱者にはやはり地元の商店街はなくてはならない存在だと思ひます。もちろん商店街自身もお客様目線で努力します。「元気でしたか」何か困っていることはないかね「配達しようか」こんな会話が商店街にはあります。昔馴染み、固定客を大事にしている商店街が元気であれば、きっと住みやすい駅前になると信じている私も商店街の一員です。今年一年どうぞよろしくお願ひいたします。



訂正とお詫び

自治だより No.151号の泉連合区からの泉公民館建設促進について市からの回答で「総合的に」は「複合的に」でした。訂正してお詫び申し上げます。

久尻区長 土本 赳夫

このたび、令和七年度の久尻区長を拝命することになりました。

父が土岐市出身で、私は昭和二十二年土岐市で生誕し、すぐ名古屋に移り住み、約六十年間名古屋で暮らしてきました。

土岐市に移住したのは、今から十七年前ですので、地域の慣例や風習などが、良く分かっていませんので、皆様方になにとぞよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

久尻神社



織部の里公園 (久尻区)



大 窯

連房式登窯



女性部長 日比野美奈

桜が美しく咲いているように、新年度を迎え皆様の気持ちも晴れやかに花咲いていることでしょう。令和七年度泉町連合区女性部長を務めさせていただきます。日比野美奈です。私は土岐市駅前商店街で生まれ育ちました。



進学・就職で一時この街を離れましたが、長女の小学校入学を機に土岐市に戻ってきました。それから二十年余り、仕事や子育てに無我夢中であつたという間に時が過ぎたような気がします。私が土岐市に戻ることを決めた大きな理由は子供を育てる環境でした。身寄りのない都会で仕事をしながらの子育ては精神的に負担が多く、幼い頃過ごした

地域の方との関わりがどれだけあったか、思っていました。昭和の時代、土岐市の駅前では一年を通していろんな行事があり、自治会や商店街でいろんな企画をしては、大人も子供も参加・協力していたと記憶しています。そこにはさまざまな経験や学びがありました。

進学・就職で一時この街を離れましたが、長女の小学校入学を機に土岐市に戻ってきました。それから二十年余り、仕事や子育てに無我夢中であつたという間に時が過ぎたような気がします。私が土岐市に戻ることを決めた大きな理由は子供を育てる環境でした。身寄りのない都会で仕事をしながらの子育ては精神的に負担が多く、幼い頃過ごした

新編集部長挨拶

曾我 直佳

◆楽しんで◆

「せっかくだから楽しんでやりたい」これは私が何かの役を受ける時に心がけることです。

初めてのことは戸惑うしなにより面倒臭い。日常のタスクも目一杯になってきたのに、それ以上何を増やしているのかと思います。だからこそ楽しまなくてはもつたない、とも思うのです。楽しむためには積極的に取り組んだ方が面白いのですが、そんな気持ちはやや暴走して、空気が読めないウザいやつになることもあります。自覚しつつ、自分だけじゃなく、読む人が楽しめる誌面作りを目指したいと思います。もちろん、先輩方の伝統(マニュアル)を踏襲しつつ頑張ってみます。

泉の街の隅を突いて何か面白いものが出てきたらラッキー。もしかしたら大スクープもあるかも？

各区初午祭と餅投げ

▼河合区

二月二十三日日曜日、天気にも恵まれ、河合区祈年祭・餅投げが行われました。八幡神社にて厄年の皆さん方は祈禱をしてもらったあと、場所を河合区公民館に移し、厄払いの餅投げが太鼓の音とともに始まりました。



まずは、子どもから餅投げが始り、投げられる餅に手を伸ばしてキャッチする子や下を見て落ちてくる餅を拾う子やら、ワイワイと笑顔いっぱい拾っています。

帰りには、お菓子も配られ、いくつ餅が拾えたかなど、会話も弾みながら、帰って行きました。

▼定林寺区

三月九日、定林寺稻荷神社にて、恒例の初午祭が実施されました。



午前中は初午祭神事、長寿祝いを迎え、た方々の祈禱、そして巫女舞が、静寂な神殿の中、厳かに行われました。午後三時に餅投げが、盛大に実施。歓喜と共に瞬間に流れるときの、無我夢中に餅を投げ、拾う姿に、



今年、一年、よい年となる。垣間見ることができ、

▼大富区



せっかくなので、パノラマで撮ってみました！

▼駅前・久尻区

晴天で穏やかな風に包まれた令和七年三月九日(日)、全国の稲荷神社で行われる伝統行事「初午祭」が執り行われました。初午祭は奈良時代から続く由緒ある神事で、稲荷大神に豊作や商売繁盛、開運、家内安全を祈願するものです。

この日、神社では午後一時より祭典が厳かに斎行され、多くの参加者が黒の正装で参加しました。神殿の前では、白い衣装に紅白の飾りをつけた巫女たちが、優雅な舞を奉納しました。静寂の中、鈴の音とともに舞う姿は神秘的で、神への感謝と願いが込められた美しい儀式となりました。



午後三時から、多くの参加者が楽しみにしていた「餅投げ」が行われました。還暦を迎えた方や町内会



役員の方が高台に上がり、紅白の餅やお菓子を投げて参加者の健康や幸福を祈願しました。青空の下、宙を舞う餅に向かって人々が手を伸ばし、境内は活気に包まれました。



にぎやかな餅投げを通じて、初午祭は多くの人々の願いと喜びが交わる特別な日となりました。地域の伝統を大切にしながら、福を分かち合うこの行事は、今後も受け継がれていくことでしょう。

流行り病の影響でしばらく中断してしまった厄年会の参加ですが、近い将来再開されることを心待ちにしています。

ウイズ認知症

ある日銀行へ行つた際、その前で落ち着かなくしているお年寄りを見かけました。銀行の用を済ませ帰る時もまだその方はお見えで、心配で声を掛けました。「家に帰りたいけどわからない……」

しばらく話しているうちに何とか身内の電話番号が話に出てきましたので、やっと帰られることになりました。また、病院へ行くと言つて場所もわからなく徘徊をする人やいきなり目の前で見かけるなど、ここ数年で何回か介助することがありました。

幸いこれらの方々とは何とか会話することができ、家へ帰ることができました。これらは認知症により起きたことと思われませんが、幸いまだ一緒に話すこともでき、家へ帰ることもでき、安心したところでした。

しかし、警察の方と話した経験では亡くなった方の話が多く上がり、認知症で死に至る怖さを思い知ったところでした。

二〇二五年、日本では六十五歳以上で五人に一人の割合で認知症になると言われています。



そのため、よりいっそう認知症を正しく理解し、社会的に誰もが助け合

い、また予防していくことがよりいっそう必要になると強く考えます。

しかし認知症の正しい理解とは何でしょうか。正直なところ、多くの方は困ってしまうと思います。少し堅苦しい話となりますが、認知症は定義的に「脳の物質的な異常により起こる記憶障害を主体にして起こる病気」となります。

表1のように七十種類以上と多くの分類に分けられる病気です。

認知症
アルツハイマー型認知症
血管性認知症
レビー小体型認知症
パーキンソン症状を伴う認知症
進行性核上性麻痺
前頭即答型認知症
その他

アルツハイマー型認知症が全体の65%近くを占めるが、原因は70種類以上に及ぶ。

表-1

その中、日本では「アルツハイマー型認知症」が多く、六十五%近くをしめています。

「アルツハイマー型認知症」は記憶障害が最も早く出る病気ですが、ゆつくり発症、進行していく(表1-2)ため「病気だ」ということがわかりにくい特徴の認知症です。なんとなくお分かりの方も多いかもしれません。

図 アルツハイマー型認知症の経過を通った症状の変化

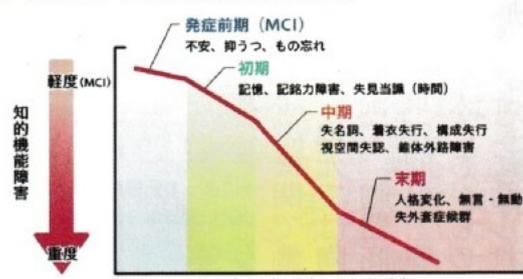


表-2

認知症は数多くあり個別にとっても説明できませんが、全般として、後天的に思考判断の低下、見当識の損失など認知機能障害(表3)が「半年以上継続して起こる」ようになり、社会生活

日常生活に支障をきたすとされています。

認知機能	認知機能
記憶 思考 判断 会話 見当	記憶障害が主体で起こる病気

表-3

ここから、認知症対策として、障害が「半年以上継続して起こっている」ことに気付くことが大切となります。

しかし現状、ここに気付くことが難しくわからないところでは、「なかなか改善しない、何かおかしい」と思えば、身近な福祉・医療・介護関係者と気楽に相談していくことが「ウイズ認知症の第一歩」としてとても大切なことと思えます。

このため、市、泉町など福祉・医療・介護などの機関だけでなく、市民・町民などで認知症についてオープンに語られ、第一歩が踏み出せるようになることを期待するばかりです。

そう思う中、近年、認知症について知見・研究と対策が進み、幸い軽度認知症(MCI表1-2参照)の場合、改善の可能性が高くなることがわかってきています。

例えば、若い学生のころなどに行っていた、①適度な運動をする、②適切な栄養を取る、③知的活動をする、④社会参加などの健康的な生活をする(表1-4)を行うことです。これらは自らできることばかりで、この行いで脳を生き生きとさせるのです。

健康的な生活
生活習慣病の予防
適度な運動
社会参加
知的活動
適切な栄養
ゲーム(将棋など)
その他

適度な運動、適切な栄養、知的活動、社会参加が認知症予防の4本柱です。

表-4

また昨年アルツハイマー型の治療薬が開発され、改善予防に光が差し込んできています。

これから訪れる認知症社会ですが、「ウイズ認知症」として皆で理解・対応し、明るい泉町の未来になることを望みます。

参考書籍
・認知症の教科書
・認知症Q&A

連載 泉町 あの人この人

今回紹介するのは、築井俊宏さんです。

みなさん、「きまま館憩いの家」をごぞんじですか？ 筆者は取材にあたって雪が舞う二月二十二日（猫の日）に訪問しましたが、館内を案内して頂いた築井さんの情熱に加え、展示物に関わる情報量というか載せる量が多すぎるため、急遽このコーナーを今回と次回この二回にわたって紹介したいと思えます。

きまま館には、民家の一階と二階の一部約三十坪の展示スペースに五万点は優に超える展示品が並び、江戸時代の古書、明治期の郵便切手やはがき、大正・昭和期のマツチ箱、テレホンカードなど、室内の畳も展示品と調和が取れて良い雰囲気を出しています。

築井さんは、幼少期に戦争を経験されていたことから、物も食べ物も何もない状況で、死に物狂いで生きてきたそうで、そういう時代を生きてきたからこそ、物を集めることに執着する心が根底にあるそうです。



収集を始めたのは、小学校の頃の通信簿を大事に保管していたころだそうです。その後、金融機関で働き始めたころ、地元では陶磁器産業が活況で、陶器商たちが全国を飛び回り、職場にこうした人たちからの送金が届き、そこに貼られた郵便切手（消印済み）に興味を抱いたことが更に収集への意欲というか収集量が飛躍的に増えたそうです。



取材当日は、開館時間から写真撮影の合間に築井さんの思い入れや思い出の深い展示品を丁寧に説明して頂き、暗に貴重な品々や資料を見学するだけではなく、どの様な経緯や展示品に価値があるかを教えて頂きながら見て回ったため、あつという間に閉館の時間にな



背表紙などを整理した古書



るようになり、生まれる前の時代の品にも興味がわき、名古屋の大須商店街を始めとした骨董市にもあしげく通うようになったそうです。



取材当日は、開館時間から写真撮影の合間に築井さんの思い入れや思い出の深い展示品を丁寧に説明して頂き、暗に貴重な品々や資料を見学するだけではなく、どの様な経緯や展示品に価値があるかを教えて頂きながら見て回ったため、あつという間に閉館の時間にな

一度訪れてみては如何でしょうか？
また、写真のような囲碁コーナーも設けて有りますのでお越しく下さい！と仰つてみました。

「きまま館憩いの家」は毎週土曜日の午前十時から十二時までオープンしており、入場は無料です。



つてしまいました。